

一人芝居 × 観客参加型舞台 佐藤隆太が描く注目の舞台
「エブリ・ブリリアント・シング ～ありとあらゆるステキなこと～」
開催のお知らせ

水戸芸術館 ACM 劇場では、佐藤隆太による一人芝居『エブリ・ブリリアント・シング ～ありとあらゆるステキなこと～』を開催いたします。

つきましてはぜひ、貴媒体にてご紹介いただきますようお願い申し上げます。

僕自身も待ち望んだ3年ぶりの再演です！

この舞台は観客の皆さんと一緒に物語を紡いで完成する作品です。

「観客参加型舞台なの!?!」と一瞬たじろいだ方もいらっしゃるかもしれませんが、物語を語るお手伝いをほんの少しお願いするだけです。

その日その場に集まった方だけで共有する時間や空間は、きっと特別なものになると思います。

そして「明日も元気に生きて行こう」と前向きな気持ちになっていただけるはずです。

一緒に「ブリリアントなこと」「ステキなこと」を探す旅に出かけましょう！

佐藤隆太



本公演の魅力

「一人芝居 × 観客参加型舞台」、注目の舞台演出

本作は、佐藤隆太の一人芝居によって描かれるだけではなく、会場内の観客も一緒に物語の担い手となる観客参加型の舞台で、「イマーシブ（＝没入）シアター」と呼ばれるユニークな上演スタイルです。360度客席に囲まれた佐藤が、観客に問いかけたり、役を演じるように呼びかけ、観客の反応と共に舞台を進行していきます。

一人芝居と柔軟なアドリブが求められる難役ですが、2020年の初演では大反響を呼び、「できることなら、この先もライフワークとして続けたい。宝物のような作品に出会えたと思っている」と佐藤は語っています。

世界中で翻訳上映を重ねる注目作が、満を持して水戸に初登場。

2013年イギリスにて初演、翌年には演劇祭の最高峰の一つ、エディンバラ国際演劇祭に参加し、3年連続上演されるという快挙を成し遂げた作品。2020年の日本訳初演を経て、今回水戸で初上演します。

■ストーリー

僕が7歳の時に、ママが入院した。どうやら、生きることが切なくなってしまったみたいだ。
僕はママを勇気づけようと、ステキなことやステキなものを、ノートに書き出してみた。
1番 アイスクリーム、2番 水かけっこ、3番 寝る前に見るテレビ、4番…
そして1000番まで集まったら、ママは、きっと元気になる!そう信じて。
そんな子ども時代を過ごした少年が、大人になってもステキなことを書き続けている。それは…

■公演概要

- 名 称** 『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3』参加事業
エブリ・ブリリアント・シング ～ありとあらゆるステキなこと～
- 日 時** 2023年9月16日(土)、17日(日)、18日(月・祝) 各回13:30開場・14:00開演
- 会 場** 水戸芸術館 ACM 劇場
- 料 金** 全席自由(入場整理番号付) 一般4,500円、U-25(25歳以下)3,500円 好評発売中
- 取扱い** 水戸芸術館(9:30～18:00/月曜休館)
[電話] チケット予約センター Tel.029-225-3555
[WEB] <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>
[窓口] エントランスホール内チケットカウンター
- 作** ダンカン・マクミラン、ジョニー・ドナヒュー
- 翻訳・演出** 上田一豪
- 出演** 佐藤隆太
- スタッフ** 演出補: 桐山知也/美術: 柴田麻衣子/照明: 小川 修/音響: 清水麻理子/スタイリング: 勝見
宜人/ヘアメイク: 白石義人/舞台監督: 松坂哲生/委託プロデューサー: 穂坂知恵子/宣伝美術:
加藤京子(Sidekick) / 宣伝写真: 中村彰男/イラストレーション: ミヤタチカ
- 主 催** 公益財団法人水戸市芸術振興財団、公益社団法人全国公立文化施設協会
- 企画制作** 東京芸術劇場
- 助 成** 文化庁文化芸術振興費補助金(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2)) / 独立行政法人日本芸術文化振興会

■アフタートーク

9月16日(土)のみ終演後に、佐藤隆太さんのアフタートークを開催いたします。

■お問い合わせ

ご掲載について: 水戸芸術館 広報係 中山・川崎 Tel 029-227-8111
Mail kouhou@arttowermito.or.jp

企画について: // 演劇部門 櫻井・比嘉 Tel 029-227-8123

住所 〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8

Web <https://www.arttowermito.or.jp/>